

しまはたき

～畑岡小学校27年のあゆみ～

栗原市立畑岡小学校閉校記念誌



ありがとう ～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2013.03



㊦ あいさつ			
畑岡小学校の閉校、畑岡幼稚園の閉園に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	1
畑岡小学校の閉校、畑岡幼稚園の閉園に寄せて	栗原市教育委員会 教育長	亀井 芳光	2
閉校に寄せて（ありがとう畑岡小学校）	栗原市立畑岡小学校 校長	齋藤久美子	3
閉校に寄せて	栗原市立畑岡小学校 P T A会長	三浦 修	4
㊦ あゆみ			
	～畑岡小学校の沿革（昭和60年開校～平成25年閉校）		5
	～畑岡小学校・畑岡幼稚園の沿革（昭和60年開校～平成25年閉校）		6
㊦ 学校の概要			7～8
㊦ 校歌			9
㊦ 校章・校旗（校章の由来・児童数の推移）			10
㊦ 歴代校長			11
㊦ 寄稿文			
～歴代校長より～	感謝	そして いつか畑岡小学校の復活を	第7代校長 植田 健稔 12
		畑岡小（幼）の思い出	第8代校長 川股洋一郎 12
		合計10年	第9代校長 鈴木 達朗 13
		ありがとう畑小	第10代校長 佐藤 賢一 13
		畑岡小学校が自然体で進めてきたこと	第11代校長 石川 孝泰 14
～職員から～	閉校にあたって		15～16
～児童より～	閉校にあたって		17～22
～閉校記念委員～	感謝	閉校記念事業実行委員会 事業部会長	橋 喜代志 23
	さようなら畑岡小学校	記念誌・記念碑部会長	千葉 慎也 23
	再編計画に携わって	再編準備部会長	桜田 隆吉 23
～卒業生の代表、各地区の保護者～			24
～各地区の保護者～			25
～歴代P T A会長～			26～28
～元 教職員～			29～30
～地域の方々から～			31～32
～シドニーオリンピック選手～		昭和62年度卒業	高橋千恵美 33
㊦ 写真で見る27年のあゆみ			34～39
㊦ あとがき			
	栗原市立畑岡小学校 教頭	門傳 昌彦	40





畑岡小学校の閉校、畑岡幼稚園の閉園に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

はるか西方に秀峰栗駒山の雄姿を望み、南には渡り鳥や野鳥の聖地である伊豆沼をかかえる自然豊かな丘陵地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた畑岡小学校並びに畑岡幼稚園が閉校・閉園するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

明治6年に第7大学区第20中学区畑岡小学校として創立され、以後、合併や法改正による改称などを重ね、昭和44年に畑岡幼稚園、昭和60年には大立小学校と畑岡小学校が統合し、新生畑岡小学校として開校などの変遷がありながらも、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと地域の温かな目に守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。

また、恵まれた地域環境の中、学校及びPTA、児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良表彰をされておりますことは、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々な御尽力によるものでありますとともに、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、広く御活躍されておりますことは、地域の皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であると、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史のある畑岡小学校並びに畑岡幼稚園は豊かな自然に囲まれ、その北側には、坂上田村麻呂が東征の時、畑岡の蝦夷を討った後に陣立てし、四方を観測、敵情を察知したと言われる將軍壇が在しており、畑岡小学校の校歌にも詠われているところであります。開校当時からそれらの地域の特色と豊かな自然を活かした学習、児童会活動に取り組みられてこられたこともまた、“自分が生まれ育った地域に関心と愛着を持つ”こととして多くの卒業生や保護者をはじめとし、地域の皆様から受け継がれてきた伝統の校風といえます。

特に、ラムサール条約に登録されている伊豆沼を活用した総合的な学習は、様々な水生植物や昆虫、魚や水鳥など多様な生物を間近で観察することにより、自然の中に存在するつながりや生きものの違いなどを知ることができ、そこから地域の自然にまつわる歴史や言い伝えなどを学ぶことができる貴重な授業の一つであったと思います。

また、畑岡地区の方々には教育への関心が高く、学校に対して協力的であるとともに、スポーツ少年団の振興にも力を入れ、さらには地域の伝統芸能である畑岡弥助ばやし獅子舞の伝承活動においても積極的に行われているところであり、地域と学校が一体となって共に汗を流して育ててきたことは、心身ともに健全な児童育成の成果として、様々な分野において全国表彰や宮城県知事賞などを受賞してきたほか、栗原や宮城県内の小学校の中でも、良き模範として挙げられるものであります。

このように歴史と伝統ある畑岡小学校並びに畑岡幼稚園が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童・園児の減少などの背景から、栗原市においても学校の再編が避けられず、本年3月31日をもって校史・園史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで畑岡小学校並びに畑岡幼稚園を巣立った皆様にとって、母校の閉校・閉園は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ畑岡の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、『学府くりはら』の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、畑岡小学校並びに畑岡幼稚園が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。





畑岡小学校の閉校、畑岡幼稚園の閉園に寄せて

栗原市教育委員会
教育長 亀井 芳光

平成25年4月、畑岡小学校は若柳小学校・大目小学校・有賀小学校・大岡小学校と再編し、新生「若柳小学校」として現在の若柳小学校校舎のもとでスタートすることになりました。また、隣接する畑岡幼稚園につきましても、若柳地区幼稚園の3年保育実現のため、若柳幼稚園・有賀幼稚園・大岡幼稚園と再編し、44年にわたり地域の幼児教育を支えてきた永い歴史の幕を閉じることとなりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました畑岡地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、若柳地区の小学校再編を進めるにあたり、教育委員会で提案する再編計画に震災のさなかではありましたが、5小学校の保護者会会長と一緒に教育委員会にお出でいただき、当初の計画では旧町村域をまたぐ再編も提案いたしましたが、若柳地区においては5校全てが一緒になるとのご判断をいただき、地域の皆様にも、この保護者の判断を最大限尊重いただきましたことに改めまして感謝申し上げます。

さて、畑岡小学校は昭和60年4月に旧畑岡小学校と旧大立小学校が統合し、新生「若柳町立畑岡小学校」として開校以来、現在に至るまでの27年間歩んできました。この間、郷土の伝統芸能「畑岡弥助ばやし獅子舞」の継承活動や地域にある伊豆沼をテーマにした環境教育への取り組みなど、まさに地域と一体となった教育活動が行われておりました。

また、畑岡幼稚園は昭和44年4月に「若柳町立畑岡幼稚園」として創立され、地域の自然環境を生かした保育や小学校に隣接しているという利点を生かし連携を密にした教育活動が行われてきました。

しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。畑岡小学校の校歌にある「緑深き將軍だん」「世界に誇る伊豆沼」のもと、地域と共に歩み続けてきた小学校と幼稚園がなくなることは、地域の皆様にとっては計り知れない寂しさや愛惜の念を禁じえないことと思います。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた畑岡小学校・畑岡幼稚園の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校・幼稚園」の創造に向けて取り組んでいってくれることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会はじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる若柳小学校・大目小学校・有賀小学校・大岡小学校・若柳幼稚園・有賀幼稚園・大岡幼稚園の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校・閉園にあたり、これまで永きにわたり畑岡小学校及び畑岡幼稚園を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。





閉校に寄せて（ありがとう畑岡小学校）

栗原市立畑岡小学校

校長 齋藤 久美子

本校は、昭和60年4月に、旧畑岡小学校と大立小学校が統合し、新生「畑岡小学校」として開校し、現在に至り27年間になりました。地域文化の拠点として輝かしい歴史と伝統を築いてきました。畑岡地区は、はるか西方に栗駒山の雄姿を望み、そこを源とする迫川が流れ、すぐ近くに伊豆沼があり、サンクチュアリセンターは環境教育の学習の場所。春は校舎のまわりに63本ある桜の満開の下でお花見給食をします。また、祖父母の方々の援助をいただき全校一斉の田植えを行います。夏は近くにある伊豆沼の自然教室でハス祭りに全校で参加します。秋は校舎の前に黄金色の田んぼが広がり、秋祭りや学習発表会等を行い、祖父母の皆さまと地域の方々を招待してふれあいます。そして冬は伊豆沼に白鳥や雁が飛来し、校舎の上を鳴きながら飛んでいく姿が見られます。

これまで本校は、作文教育や体力づくり、福祉活動、愛鳥教育、金銭教育などに力をいれてきました。数々の栄光の記録を挙げるには枚挙に暇がありません。これらは、保護者の皆さまや地域の皆さまの本校に対する大きな期待と心からのご理解、そしてご支援の証に他なりません。

しかしながら、児童数も近年の少子化の影響を大きく受けて、減少の一途を辿ってきました。地域の中の学校として様々な学校行事等にご尽力をいただき、関わりながら子どもたちは成長してきました。現在、子どもの数が減少していく中で、これからの学校のあり方を考え、将来の子どもたちのより良い教育環境を確保するため、発展的に若柳地区小学校の4校（若柳、大目、有賀、大岡）と再編するという決断をされた保護者の皆さま、そして地域の皆さまに改めて敬意を表します。

さて、閉校する畑岡小学校に奉職して2年になります。あっという間に2年間が過ぎようとしていますが、畑岡小学校のことを問われたら、私は次のように返答します。1つ目は、地域に根ざした学校です。2つ目は、伊豆沼の自然を題材にした環境教育、もったいない運動、ボランティア活動などの盛んな学校です。3つ目は、保護者や地域の方々の熱い思いが強く感じられる学校です。平成24年度、91名の子どもたちと14名の教職員は、「ありがとう畑岡小学校・さようなら畑岡小学校」をスローガンに掲げ、有終の美を飾ろうと最後の年の思いを大切に、これまで以上にがんばってきました。今年度は、特に、地域の方々にも学校行事に参加していただけるよう閉校記念行事として様々な取り組みを行ってきました。本校が地域からなくなっても子どもたちと卒業生や地域の方々の心の中に「畑岡小学校」は永遠にあり、ふるさと（畑岡）の良さは語り継がれていくものでしょう。そして10年後、20年後の畑岡の子どもたちは、地域の方からいただいたふるさとのまごころ（人の和）とふるさとへのおもい（愛着）を心に刻んで生活していることと確信しています。

平成25年4月に開校する新生「栗原市立若柳小学校」に1～5年の児童が入級していきます。5地域の児童が共に力を併せて地域の新たな道を切り開いていってほしいと願ってやみません。

終わりに、27年間にわたり、畑岡小学校の教育活動に際しましてご支援・ご協力を賜りました保護者の皆さま、そして地域の皆さまに心から感謝申し上げますとともに、畑岡地域の一層のご繁栄と新生「栗原市立若柳小学校」の発展を祈念申し上げます、閉校の挨拶といたします。



閉校に寄せて

栗原市立畑岡小学校
PTA会長 三浦 修

畑岡小学校の校舎からは、校歌にもあるように「世界に誇る伊豆沼」が一望することができます。四季折々にその風景を変え、見る人に自然の雄大さを感じさせてくれます。特に、越冬に飛来する白鳥や野鳥の群れは、世界的に有名で、「ラムサール条約」にも登録されております。これまで郷土の誇りと恵まれた自然豊かな環境で800数名の子どもたちを育ててきたこの学校が平成25年3月をもって、閉校することになりました。

本校は、27年前、旧畑岡小学校と、旧大立小学校の統合により、新生畑岡小学校として誕生しました。今日までの、先生方のご努力、地域の皆様の温かい心に見守られながら、子どもたちは学業に、スポーツに輝かしい成績を収めてきました。また、畑岡の伝統芸能である「弥助ばやし獅子舞」は、保存会のご協力をいただき、毎年春の運動会や各種催し物で披露するまでになりました。会場の観客から多くの拍手をいただき、誇らしげに微笑む子どもたちが大変愛おしく頼もしく思えました。子どもたちが「弥助ばやし獅子舞」を通し、畑岡の古き良き時代を教えられていたのだと思います。

また、近年では「もったいない運動」としてエコリサイクルや、資源の有効活用、資源回収などもったいない意識を親子で高める活動を行ってきました。栗原市内においても、このような活動の例はなく、「みやぎっ子ルルブル推進会議」より「優良団体賞」として表彰されました。このように、長い時間をかけ、学校の先生方だけに任せた教育ではなく、学校、地域、PTAが互いに連携し、協力してつくり上げてきたのが、本校のよさであると思っています。改めて畑岡小学校の地域における存在、積み上げてきた伝統、それらを失うことに寂しさと万感の思いがこみ上げてきます。時代の変化に対応するために、そしてこれからの子どもたちの教育環境の整備に向けた断腸の思いの決断だったことは言うまでもありません。

これまで本校の教育活動にご理解、ご支援いただいた、先生方、保護者のみなさま、そして地域の方々々に心より深く感謝を申し上げます。





年度	畑岡小学校の沿革
昭和60年	4月 畑岡小・大立小学校が統合（児童数233名）し、新生『若柳町立畑岡小学校』となる。（校舎を旧畑岡中学校・大立小学校の跡地に新築）
61年	体育館完成 校歌制定 校旗樹立式 体育館裏山に運動公園造成 バックネット新設 校庭拡張工事完成 全国小中学校作文コンクール文部大臣賞受賞
62年	文部省より「特別活動研究指定」を受ける。旺文社作文コンクール文部大臣賞受賞 国旗掲揚塔新設 駐車場完成
63年	公開研究会「自主的・実践的な態度を育てる学校行事の運営等の工夫」 全国小中学校作文コンクール県優秀賞・知事賞を受ける。 全国小中学校手紙作文コンクール文部大臣奨励賞を受賞
平成元年	少年少女リレー全国大会400Mリレーに出場 全国小中学校作文コンクール文部大臣賞受賞 子ども貯蓄協同組合県知事表彰を受ける。ロング滑り台2基設置（24m、10m）
2年	ロング滑り台1基設置（10m）
3年	開校記念日を「12月9日」に制定 西側通路昇降口前まで舗装
4年	県知事より「愛鳥モデル校」として指定を受ける。（2か年） 県社会福祉協議会より「ボランティア普及協力校」の指定を受ける。（3か年） 郷土芸能「弥助ばやし獅子舞」を本格導入 児童会の歌制定 校舎前舗装
5年	伊豆沼コーナー設置 「小さな親切運動」社団法人全国運動本部より表彰を受ける。 ボランティア活動普及協力校として実践発表
6年	明るい生活推進委員会発足 体育館裏山に山小屋設置 開校10周年記念事業開催 学校保健委員会発足 空き缶回収機設置
7年	「水環境保全奨励賞」を受賞する。 大崎栗原伝統芸能づくり推進協議会より奨励賞受賞。
8年	宮城県治水協会河川整備助成事業助成金交付により図書館本棚設置 宮城県PTA連合会より畑岡小学校PTA団体表彰を受ける。 日本肢体不自由協会より感謝状。
9年	スポーツ少年団後援会検討委員会発足 職員駐車場及び校舎玄関前防犯灯設置
10年	校庭遊具施設設置（ブランコ・ジャングルジム・シーソー） 二階廊下照明器具取付 通学路にPTA交通安全看板取付
11年	校庭東側に遊具を移動・設置（ターザンロープ等）
12年	文部省より若柳町が「生徒指導総合連携推進事業」の指定を受ける。 若柳町教育委員会より「心をはぐくむ教育」の指定を受ける。 若柳町教育委員会より「心をはぐくむ合宿体験事業」の指定を受ける。 第35回野生生物保護実績発表会（環境庁）にて「林野庁長官賞」を受賞
13年	宮城県伊豆沼内沼環境保全財団よりサクチュアリセンター開館10周年にあたり感謝状をいただく。 特殊学級（情緒障害学級1）開設。みやぎ国体卓球開始式に弥助ばやし獅子舞出演。 若柳町教育委員会より「心をはぐくむ合宿体験事業」の指定を受ける。 校庭ロング滑り台脇に階段設置、ポール時計新規交換、トイレ洋式便器へ取り替え3カ所 職員室エアコン2台設置、教室暖房機23台新規交換、多目的ホールカーペット張り替え
14年	宮城県花壇コンクール入賞 特別賞として鈴木長治賞を受賞 特殊学級（肢体不自由学級1）開設 校庭西側に観察池設置 保健室エアコン設置、体育館暖房機16台新規交換、音楽室 雨樋修繕、校庭東側暗渠工事
15年	宮城県花壇コンクール入賞 特別賞として鈴木長治賞受賞 みやぎ県北高速幹線道路環境緑化計画に本校児童参加（コナラ、クヌギの採取と播種）。 体育館通路のテラスと体育館屋根一部防水工事、校舎二階手すり非常階段防錆工事。





畑岡小学校・畑岡幼稚園の沿革 (昭和60年開校～平成25年閉校) ～あゆみ

年度	畑岡小学校の沿革
16年	宮城県花壇コンクール入選 特別賞として鈴木長治賞受賞。特殊学級(知的障害学級1)開設 トイレ電気暖房機交換 コンピューター更新及び設置(PC室児童用24台、教師用1台更新 各学級用7台設置) 体育館連絡通路防水工事
17年	栗原郡10町村合併(栗原市誕生)により栗原市立畑岡小学校と改称される。宮城県花壇コンクール入選 特別賞として鈴木長治賞受賞 トイレ電気暖房機交換 体育館連絡通路外壁塗装工事 プールろ過器・ヘアキャッチャー修繕 校庭南側・東側ネットフェンス設置工事
18年	P.T.Aの協力によりふるさと農園に昆虫館開設 屋内消火栓設備修繕 宮城県花壇コンクール入選 特別賞として鈴木長治賞受賞
19年	宮城県花壇コンクール入選 特別賞として鈴木長治賞受賞 プールテント張り替え 屋外スピーカー交換
20年	宮城県金融広報委員会より「金銭教育研究校」の委嘱を受ける。宮城県花壇コンクール入選 特別賞として鈴木長治賞受賞 プール緊急用電話設置 県警本部長・県交通安全協会会長より交通安全優良学校の表彰を受ける。日本教育公務員弘済会宮城県支部「教育研究論文・特選」を受賞(共同研究・金銭教育)
21年	「金銭教育公開授業」を開催 2階中央トイレ鏡交換 放送室暗幕交換 体育館トイレ天窓落下防止柵設置 体育館ミーティングルーム天井補修
22年	「学力向上サポートプログラム事業支援校」の指定を受け、算数科の研究を行う。体育館屋根修繕・塗装 職員駐車場にソフトバンクの中継アンテナ設置(校地貸与) 日本教育公務員弘済会宮城県支部「教育研究論文・特選」を受賞(共同研究・算数科)
23年	2011.3.11、PM2:46東日本大震災発生・震度7、ライフライン1週間止まる 沿岸地域津波発生のため被害甚大、東京電力福島原子力発電所も被災し放射能被害拡大 2011.4.7、PM11:32東日本大震災の余震・震度6強、停電3日 宮城県教育委員会指定「志教育支援事業」推進地区指定(若柳地区)の委嘱を受ける。みやぎっ子ルルブル推進会議より「優良活動団体」として表彰を受ける。地震被害工事(体育館・柱修繕)
24年	宮城県教育委員会指定「志教育支援事業」推進地区指定(若柳地区)の委嘱を受ける(2年目)。「栗原市学力向上支援事業」の指定を受け、算数科の指導を中心に、総合的な学力向上(はばたきプラン)の研究を行う。文部科学大臣より「優れた早寝、早起き、朝ごはん」運動の表彰を受ける。2013.2.10 栗原市立畑岡小学校閉校式。

年度	畑岡幼稚園の沿革
昭和35年4月	若柳町内6小学校に幼児学級を開設(町内幼児数508名) 指導者2名で月3回巡回指導実施。
昭和44年4月	町立幼稚園開園のため幼児学級を廃止する。
昭和48年	園舎を旧畑岡中学校校舎に移転 大立小学校に併設
昭和58年	園舎を大立小学校校舎に移転 仮園舎で保育 1学級編成(教諭2名)
昭和60年	新園舎新築(畑小・大立小統合)
平成3年	開園記念日を12月9日に制定
平成9年	さくら幼年消防クラブ結成
平成17年4月	栗原郡10町村合併(栗原市誕生)により栗原市立畑岡幼稚園と改称される
平成24年	栗原市立畑岡幼稚園閉園式(2013・2・10)



地理的特色

若柳地区は、仙台市から北へ70km余り、岩手県境と接する栗原市東部に位置し、総面積52.5km²の南北に細長い地域である。西に東北自動車道と東北新幹線、東に東北本線が走る。はるか西方に栗駒山の雄姿を望み、そこを源とする迫川が、地区の中央を西から東にゆうゆうと流れている。南に渡り鳥や野鳥の聖域としてラムサール条約に登録している伊豆沼をかかえ、その北側のなだらかな丘陵に畑岡小学校が建っている。平成23年11月に、当校の北側丘陵地帯にみやぎ県北高速幹線道路が開通し、学校前の道路の交通量が軽減された。



伊豆沼のハス



本校の特色

畑岡小学区は伊豆沼をかかえ、古くから伊豆沼の干拓を進め、米作りに励んできている。近年は共働き家庭が急増し祖父母が留守をあずかることが多い。生活の変化とともに保護者及び地域の方々の学校教育に対する関心・期待は大きく、協力的である。

昭和60年4月に、旧畑岡小学校と旧大立小学校が統合し、新生『畑岡小学校』として開校し、現在に至る。児童は明朗闊達で素直であるが、やや覇気に欠けるきらいがある。各教科の基礎的・基本的事項の定着に向けた指導を土台として、児童の自己教育力と豊かな心を育むために、日々の教育実践を重視するとともに、伊豆沼や地域を愛する心を培う環境教育や郷土の伝統芸能『弥助ばやし獅子舞』の継承活動等、地域環境を生かした教育並びに将来の夢を培う志教育、国語科・算数科の学力向上に向けた教育活動を行っている。



航空写真（昭和61年）



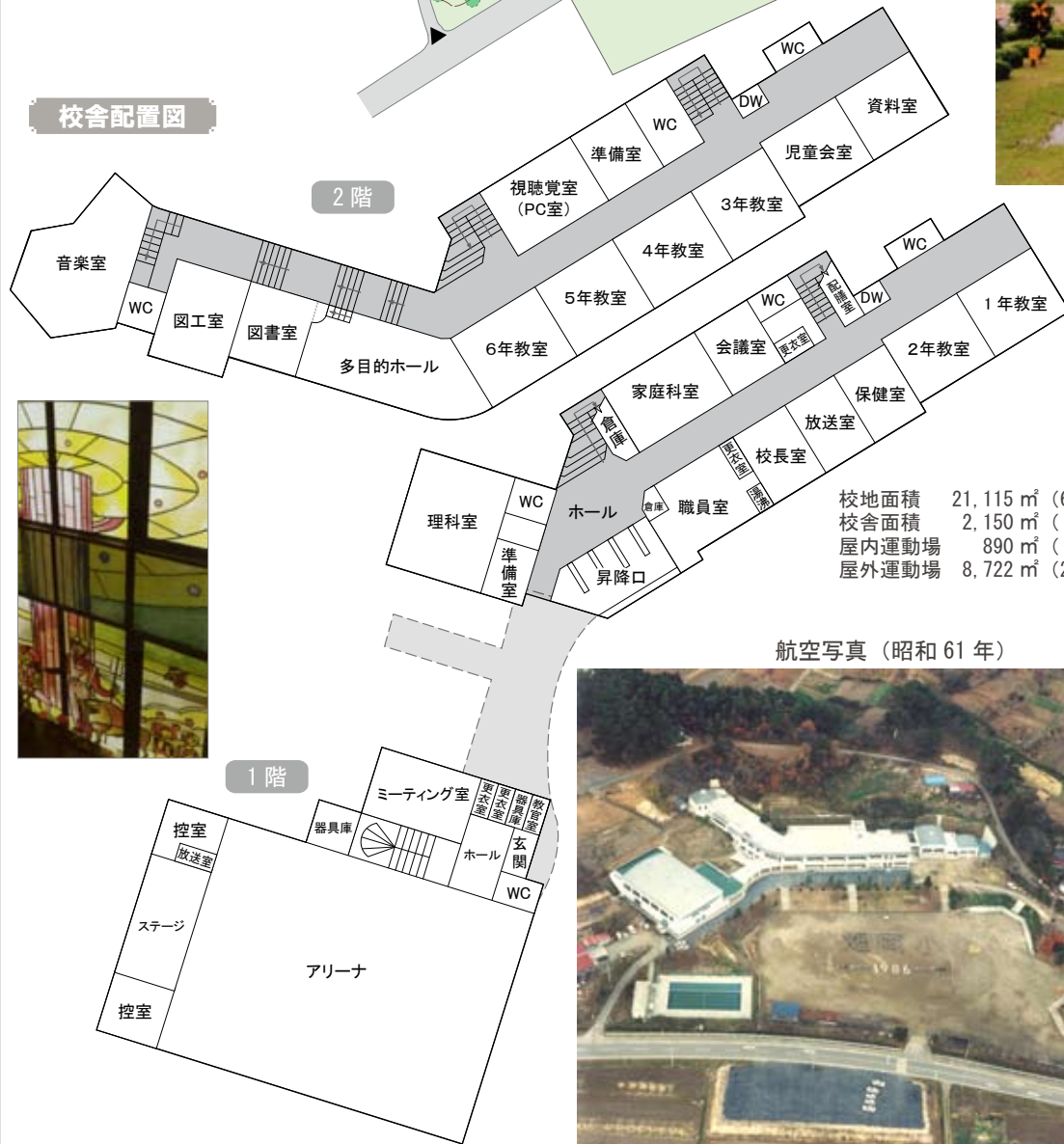


校舎のようす

学校平面図



校舎配置図



校地面積	21,115 m ² (6,374.53 坪)
校舎面積	2,150 m ² (649.07 坪)
屋内運動場	890 m ² (268.68 坪)
屋外運動場	8,722 m ² (2,633.13 坪)

航空写真 (昭和 61 年)





畑岡小学校 校歌

作詞 千葉 一雄
作曲 海鋒 義美

あかるく、かろやかに

みどりにふかーきしょうぐん
だーん と おーいむかしをい
まーにききわがはたおかの
まなびやにつどいてはげむともだちとあ
かるいぶんかをきずきます

畑岡小学校 校歌

作詞 千葉 一雄
作曲 海鋒 義美

- 一、緑に深き將軍だん
遠い昔を今に聞き
わが畑岡の学び舎に
集いて励む友達と
明るい文化を築きます
- 二、遙かに望む栗駒の
気高い姿を仰ぎつつ
広き耕土にいだかれて
集いて遊ぶ友達と
楽しい郷土を創ります
- 三、世界に誇る伊豆沼の
野鳥の群れを窓に見て
四季の風に育くまれ
集いて学ぶ友達と
豊かな未来を拓きます





校章（校章の由来）



1. 外周の「輪」は、畑岡学区の「和」を象徴。
2. 「2羽の白鳥」の飛翔する姿で、畑岡小学校と大立小学校の発展的統合と児童の大きな飛躍を表現。
3. ラムサール条約制定により、白鳥と学童・住民の交流と保護を表意。
4. 「青色」は、伊豆沼と純真で清楚な児童の姿を表示。
5. 丸ゴシックの「小」の字は思いやりのある児童のすこやかな成長を願って。

昭和60年1月30日 若柳町教育委員会

校旗



なかよく～思いやりのある子ども
 かしこく～進んで学ぶ子ども
 たくましく～心も体も元気な子ども

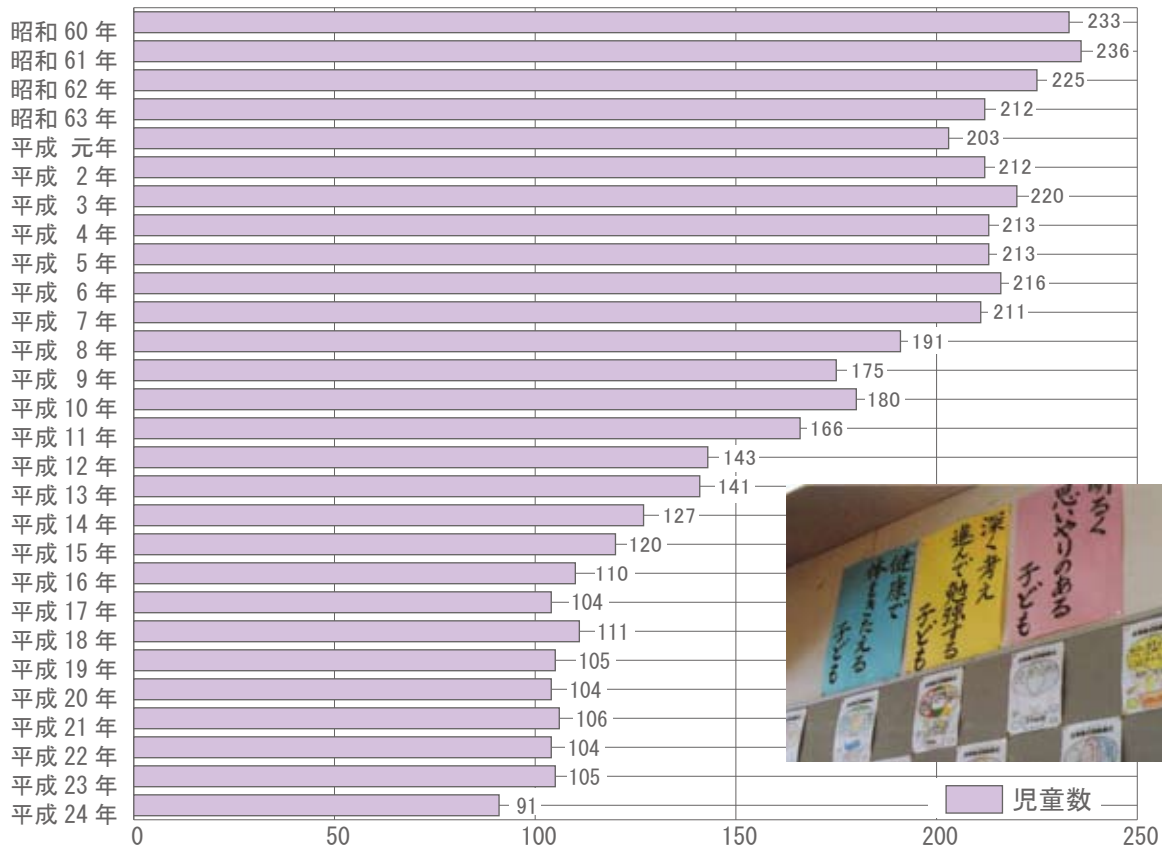
は はったしたことわくわくすることを やってみよう

た たてよう計画 しっかり見つめて

お 思いっきり 調べよう 活動しよう

か 考えたこと やってきたことを まとめよう 伝えよう

児童数の推移





初代	昭和60年度	岩淵 實夫	校長
第2代	昭和61年度～昭和62年度	氏家 清吉	校長
第3代	昭和63年度～平成元年度	岩淵 久男	校長
第4代	平成2年度～平成3年度	大津 東	校長
第5代	平成4年度～平成6年度	菅原 重悦	校長
第6代	平成7年度～平成8年度	菅野 正紀	校長
第7代	平成9年度～平成11年度	植田 健稔	校長
第8代	平成12年度～平成13年度	川股洋一郎	校長
第9代	平成14年度～平成16年度	鈴木 達朗	校長
第10代	平成17年度～平成19年度	佐藤 賢一	校長
第11代	平成20年度～平成22年度	石川 孝泰	校長
第12代	平成23年度～平成24年度	齋藤久美子	校長





感謝 そして いつか畑岡小学校の復活を

第7代校長 (平成9.4～12.3)

植田 健稔

ある日、ある方から、偶然に、畑岡小学校が今年いっぱい閉校になるとのお話をお聞きしました。まさに青天の霹靂でした。日本は少子化に歯止めがかかっていないのですから、畑岡小学校もいつかはそういう事態になることもあるだろうと思ったことはありましたが、まさかこんなに早く閉校にするとは。驚きと、疑問と、憤りと悲しみとが入り混じって、複雑な気持ちです。学校は、地域あつての学校であり、畑岡小学校は、自然に恵まれ、三世代、四世代の家庭が多く、素直で心やさしい子供たちがたくさんいる理想に近い環境なのです。夏休みもおぼあちゃんたちに手を引かれて、小学校の「弥助ばやし」の練習を見て、体で覚える幼子がやがて学校の弥助ばやし獅子舞の一員となります。地域と一体となつての運動会は、その晴れ舞台であり、三学期の引継ぎの時期は子供たちに一段と活気が沸き、将来に夢を持って親子ともども、そして地域に希望をもたらす卒業式を迎えるのです。



弥助ばやし 獅子舞 (平成11年)

退職後、お会いしたあるおじいさんに、「孫に獅子頭を作ってあげましたよ。」と、木で作ったりっぱな手作りの作品を見せていただいたこともあります。ひしの実を食べたことのない先生や子供たちに食べさせてくださった方もいたようですが、一事が万事、PTAと地域のご協力のすばらしさもピカ一でもありました。いつかまた、この地に畑岡小学校が開校されることを祈っています。

畑岡小(幼)の思い出

第8代校長 (平成12.4～14.3)

川股 洋一郎

かつて勤務した学校がなくなるとは、淋しいことです。地域の人達とすれば、思い出多い学校がなくなってしまう淋しさは、なおさらのことと思います。しかし、児童が減少していることを考えれば再編もやむをえないことなのでしょう。

さて、私は平成12年4月から2年間でしたが、校長としてお世話になりました。畑岡小のすぐ隣に幼稚園があり、園長と兼任でした。幼稚園に行くと園長先生、五、六歩で小学校の校舎に入ると校長先生です。畑岡小・幼在職時代のことを思い出すと、いろいろなことが頭に浮かんできます。当時の会長さんや顧問さんをはじめ、父母の皆さんは大変協力的・活動的であったという印象です。例を上げれば、校庭の水はけがよくないので暗渠排水をしなければとなった時に、町の予算がないとなると、いろんな機械を持ち寄り、あっという間に仕上げたことです。また、土手の土どめ工事も、そうでした。子供達の情操を養う弥助ばやし獅子舞の指導も、地域の協力をいただき、一生懸命だったことも印象に残っています。畑岡小の環境はすばらしく、春は校庭の桜並木、夏は見渡すかぎり緑一色秋から冬には学校上空に渡り鳥が飛びかい、学校の前には、数えきれないほどの白鳥や雁が羽を休めています。子供達は、それを自然なこと、当たり前のことと受けとめるほど自然に恵まれている学校でした。

手をあげる余裕あり (平成13年)



運動会 弥助ばやし (平成13年)





合計10年

第9代校長（平成14.4～17.3）

鈴木 達朗

市制が施行される前から、いずれ学校の再編成が論ぜられるだろうと予想はしていた。しかし、畑岡小は昭和60年に旧畑岡小と旧大立小が統合したばかりだし、児童数も極小までとはなっていないので対象にはならないだろうと考えていた。ところが若柳地区の5校が再編され新生「若柳小学校」となるとのこと「また統合か!」という思いであった。

私は、教諭時代に7年間と教員生活の最後に校長として3年間、合計10年、畑岡小学校にお世話になった。中でも、教諭時代に旧畑岡小と旧大立小の統合に係わったこと、まだ乾燥しきっていない新校舎、床は湿気をおび足をすべらせながら備品を搬入したものでした。また、昭和62年に文部省から特別活動（学校行事）の研究指定を受け翌年に公開研究会を開催したこと、「花の種」を結びつけた風船が児童一人ひとりの手から離れ、真っ青な空に吸い込まれていった光景は、今でも懐かしい。更に「田舎の子供とは思われないくらい生き生きと自己を表出し活動に参加していた」という参観者の感想に、それまでの苦勞が報われたような思いであった。

畑岡小学校は伝統的に伊豆沼を通した教育活動が展開され、それらの実践の多くがメディアで紹介されてきたが、統合に伴って継承できるか心配である。統合によるメリットとデメリットがあるだろうが、高い視点に立ち、一人ひとりがたくましく生きていける人間に成長する事を期待している。



弥助ばやし（平成15年）



若藤園訪問（平成14年）

ありがとう畑小

第10代校長（平成17.4～20.3）

佐藤 賢一

平成17年度より3年間お世話になりました。まず浮かぶのが、小高い校舎から望む伊豆沼の四季です。周りの桜や銀杏と、遠くの田や沼の織りなす、色彩豊かな季節巡りは、日々、目を癒してくれました。

そんな中、2年目に、PTAのみなさんとカブトムシ館作りに挑戦しました。当時、校舎裏山のわんぱく広場の片隅に、カブトムシの幼虫がたくさん見つかりました。カブトムシは昆虫の王様です。それを子どもたちへ身近に見せたり、触ったり、つかまえたりと考えたのです。子どもたちに、自然の中のカブトムシをつかまえた感動を味合わせたかったのです。PTAのみなさんと“子どもにカブトムシ”をと、親子の夢・絆の実現を目指し取り組みました。最初のカブトムシ館は裏山の畑に作りました。多くの成虫を見ましたが、脱皮の季節が夏休みと重なり、みんな一緒に楽しみ合えなかったことが少し心残りだったことを思い出しました。

他に17年度からは“早寝、早起き、朝ごはん運動”、“全国の漢字検定”受検開始、18年度から、“生活相互通信”開始、19年度には、“全国の数学検定”受検開始、“伊豆沼ハスまつり観光船”に無料招待され始め、また、地域では、第一回全国レンコン堀り大会も開催されました。などなど思い出されます。PTAのみなさん、同僚のみなさん本当に楽しく過ごさせてもらいました。

“ありがとう畑岡”です。



伊豆沼ハスまつり観光船（平成19年）



着衣水泳（平成18年）





畑岡小学校が自然体で進めてきたこと

第1 1代校長 (平成20.4～23.3)

石川 孝泰

私は、平成21年4月から退職までの3年間、畑岡小学校にお世話になりました。赴任する前、学校と家庭で「生活相互通信」の実践をされていたことにとっても興味を持ち、その実践の素晴らしさに学ぶことが数多くありました。特に、学校教育は保護者との連携が極めて大切なものであることを再認識させられたものです。それまで勤務した学校はいずれも教育研究が盛んでした。中でも5校目は、むし歯予防の研究指定校でした。赴任を前にして、教科等を中心とした研究から見て、どんな内容になるのかと疑問や不安があったことを覚えています。実際の研究では『健康な身体があつての学び』なのだと思いつく考えさせられました。また、学校と家庭・地域が一つになって取り組むことができる内容に、教育の源があることを実感しました。私は11番目の勤務校となった畑岡小学校の教育活動に出会い、そのことを確信したのです。生活相互通信。金銭教育の研究では、家庭の素晴らしいアイデア・実践力と学校のきめ細かい指導・関わりが響き合い、子どもたちの生き生きとした活動を促し、豊かな成長に結びついていたものと考えます。さらに驚くことは、畑岡小の教師集団が、それまで数年にわたり教科等の研究と二本立てで教育研究を進めていたことです。これは家庭・地域の思いに触発され積み重ねられてきたものではないかと考えます。畑岡小学校が自然体で連携して進めてきた教育の歩みを誇りに思います。



着衣水泳 (平成22年)

秋祭り (平成20年)



田植え (平成21年)



航空写真 人文字 (昭和61年)



統合の歴史

～さようなら大立小学校
(昭和59年度)

～さようなら畑岡小学校
(昭和60年3月)





私は「新潟」が大好きです。みんな心温かです。新潟小学校はそんな温かい地域の中で育てられてきたのです。弥助ばやし獅子舞の継承、世界の伊豆沼から学ぶ活動、地域参加型の「大運動会」開催、地域「引き渡し訓練」実施、地域もったいない運動の展開、田植え稲刈りもいっしょ、手作り遊びで「祖父母感謝祭」、落語鑑賞会、新潟芸能交流祭り、地域公開の日（学習参観・芸能公演会）……。新潟のすばらしさはそのまま残すべきです。私はずっと見守っていきます。

工藤 忠康

伊豆沼には、雁の飛び立ちや白鳥を見に何度も来ていました。その伊豆沼が2階の教室の窓から見える新潟小学校に4月に赴任しました。来年の3月までの1年間ですが、委員会活動やクラブ活動、縦割り活動などで、できるだけ多くの子どもたちとふれ合い、閉校へ向けて、また、来年度から始まる新しい小学校での生活に向けて準備させていきたいと思ひます。

佐藤 俊治

私が今年新潟小学校に転任して来て、一番感じていること。それは、子どもたちと先生方、先生方と保護者の方々との距離がとても近いということです。例えば、朝、職員室の入り口で、「職員室の先生方、おはようございます。」の元気な声が次から次へと聞こえてきます。とてもすてきなことを新潟小で学びました。ずっとずっと、明るい挨拶ができる子どもたちでいて欲しいと思ひます。

氏家 富士子

私は5年間新潟小学校でお世話になりました。その中で一生忘れられない思い出がたくさんできました。桜で囲まれた校庭をバックにみんなで給食を食べたこと、校舎の真上を飛ぶ何千、何万という雁の群れを見送ったこと、ハス船に乗って極楽気分でハスの実を食べたこと、弥助ばやしの練習と一緒に取り組んだこと、秋祭りで餅つきをしたこと……。どれもこれも新潟小でしか味わうことができない感動でした。本当にありがとうございました。

北條 智恵子



自然が大好きな私にとって、新潟小学校は、最高の学校でした。63本も桜の木がある学校は初めてでした。その満開の桜の木の下で、子どもたちとおしゃべりしながら給食をいただいたことは忘れられません。冬には雁の群れが伊豆沼にねぐら帰りする姿に感動しました。自然の中で子どもたちと喜びや学ぶことを共有できたことは私の財産になりました。これからも元気いっぱい笑顔いっぱいの子どもたちでいることを願っています。

平塚 実千枝

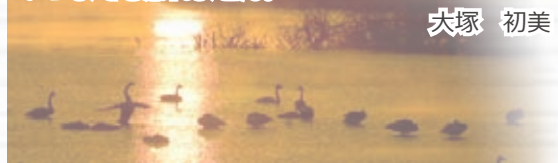


2年前、初めて新潟小学校に赴任した時、「おはようございます」と、遠くから聞こえる子どもたちの声。早く一緒に勉強をしたいなああと、わくわくしたことを思い出しました。困っている人がいると、声をかけ、手をさしのべる心の優しさ、最後まで頑張り通す忍耐力。たくさんのよさをもっている新潟小学校のみなで力を合わせ、若小でも頑張ってもらいたいと願っています。

千葉 はつ江

新潟小学校へ赴任して3年になります。伊豆沼のほりにある新潟では総合的な学習で、植物や淡水魚、鳥類の学習を子どもたちと一緒に学ぶことができました。豊かな自然の中でしか棲息しない生物がたくさんいることに驚きました。秋から冬にかけての、校庭を覆い尽くすほどの白鳥や雁の群れは圧巻です。素敵な思い出をありがとう、いつまでも忘れません。

犬塚 初美



今年度で閉校ということで行われた大運動会の朝は、前日までの雨で、校庭のあちこちに水たまり。「本当にできるのか？」と思う暇もなく、地域の皆さんの協力で、あっという間にベストコンディションの校庭に変わっていました。地域の力のすごさを目の当たりにして、深く感動したことを覚えています。今年度赴任したわたしにとっての1番の思い出です。いつまでも地域と子どもたちが手を取り合えるステキな新潟でいてほしいと思ひます。

新沼 聡





着任式の時、子供たちが学校のことを紹介してくれました。「春は桜、夏は蓮、秋は稲穂、冬は白鳥、畑岡は自然豊かなところですよ。」本当にそのとおりでした。四季の変化を目で空気で感じることができ、とても素晴らしい地域です。子供たちからは、弥助ばやしの伝承や運動会、学芸会等でのがんばりに、たくさんの感動と元気をもらいました。本当にありがとうございました。

三浦 久美

小学校の補助員として1年間お世話になりました。畑岡小学校は、1年生から6年生までみんなが仲良しで、元気がよく、本当に楽しい毎日でした。

私は若柳の出身で、若柳小が母校です。これからみんなが新しい若柳小で頑張ってくれると思うと卒業生としてとても楽しみです。

千葉 信子

1年間だけの畑岡小学校・幼稚園生活でしたが、自然の素晴らしさ、地域の人たちの団結力、子どもたちの素直な表現力を1年でたくさん感じることができました。

これからも畑岡のよいところを大事にしていてください。ありがとうございました。

佐藤 友理



畑岡小学校・幼稚園へ短い期間ですがお世話になり、大変勉強になりました。先生方、子どもたち、保護者との触れ合いで素晴らしい幼稚園生活を過ごすことができました。明るく、元気で無邪気な子どもたちとの出会いに感謝いたします。

閉校・閉園となることは寂しく残念ですが、畑岡の地域のよさを胸に刻み、頑張っておきたいと思っています。いつの日かお会いした時には、声をかけていただければうれしく存じます。ありがとうございました。

佐竹 富子

地域や人のつながりの強さ・温かさを実感しました。運動会等で、児童のみなさんが弥助ばやしを一生懸命演じている姿勢にいつも感動をもらいました。ひとりひとりが家族や地域にはぐくまれ大切にされ、伝統や地域がらを伝承している姿に生きる喜びをもらいました。ここで学び・笑い・涙した軌跡が血となり肉となっています。地区をいとおしみ大事にしてください。ありがとうございました。

千葉 てい子



大きなたき火のような日の出、真冬の黄金の夕暮れ、伊豆沼を囲む素晴らしい自然が印象的です。

地元の方々とひとつになって活動している学校が閉校となるのは残念です。皆さんをより良い未来が待っていることを願っています。

佐藤 克行

出身校である畑岡小学校。閉校となることは残念であり、とても寂しく思います。子どもの時過ごした学校。大人になっても、本当に素晴らしい学校であり環境だと思えます。子どもたちには、この素晴らしい畑岡小学校で過ごしたことをいつまでも忘れず、素敵な畑岡の子どもとして、若柳小学校でも頑張っておきたいと思えます。

畑岡小学校、ありがとうございました。

佐藤 千誉





畑岡小学校の思い出♪



1年生

まちたんけんで、ふれあいショップと、りつなんこうえんにあ
るっていきました。あ
つくてつかれたけど
たのしかったです。

にゆうがくしきの
とき、みちえんせい
にあつてうれし
かったです。あたら
しいともだちも
できてうれし
かったです。

アークぼくじょう
にえんそくに
いったことが、
たのしかったです。
うきぎをだ
っこしたあと、
いっばいぶ
らんこやお
もしろい
ゆうぐであ
そんだこと
です。

はたおかし
ょうがっ
こうにに
ゆうがく
したことが、
たのし
かったです。
いっば
いと
もだ
ちが
で
き
て
う
れ
し
か
っ
た
で
す。



ざりがにとりに
いったことが
いちばん
のおも
い
で
す。
にほ
んざ
りが
に
が
と
っ
て
も
か
わ
い
か
っ
た
で
す。
な
ま
ず
も
ち
い
さ
く
て
か
わ
い
か
っ
た
で
す。

えんそく
でアーク
ぼくじ
ょうに
い
っ
て
く
じ
ゃ
く
を
み
ま
し
た。
は
ね
を
ひ
ろ
げ
た
ら
と
も
き
れ
い
で
し
た。
み
ど
り
い
ろ
と
あ
お
い
ろ
で
し
た。



うんどう
かい
で、
は
た
お
か
ご
う
の
い
ち
り
ん
し
ゃ
に
の
り
ま
し
た。
お
と
う
さ
ん
が
ス
ピ
ー
ド
を
だ
し
て、
い
っ
し
ょ
う
け
ん
め
い
う
ん
て
ん
し
ま
し
た。
1
い
に
な
っ
て
う
れ
し
か
っ
た
で
す。

ざりがにとりに
いったことが
いちばん
のおも
い
で
す。
ざ
り
が
に
と
め
だ
か
と
ち
い
さ
い
え
び
も
と
り
ま
し
た。
み
て
か
ら
に
が
し
て
あ
げ
ま
し
た。

うんどう
かい
で
5
い
だ
っ
た
け
ど、
お
も
し
ろ
か
っ
た
で
す。
あ
と
は
お
じ
い
ち
ゃ
ん
と
お
ど
っ
た
は
な
が
さ
お
ん
ど
が
た
の
し
か
っ
た
で
す。

うんどう
かい
で、
が
ん
ば
っ
て
4
い
に
な
っ
た
こ
と
が
う
れ
し
か
っ
た。
お
べ
ん
と
う
の
に
く
づ
め
が
さ
い
こ
う
に
お
い
し
か
っ
た
で
す。



わたしの1ばんの思い出は、子どもかいできもだめしをしたことです。こわくてとっても楽しかったです。

1ばんの思い出は大うんどうかいです。4色がみんなゆうしょうしたことが、とてもこころにのこりました。

大うんどうかいをして、4色のチームがぜんぶゆうしょうしたことが、わたしの1ばんの思い出です。

1ばんの思い出は、とあくんとあそんだことです。はじめてあそんで、とてもおもしろかったです。

えんそくでアークぼくじょうに行って、たまごをとったりいろいろなこうえんであそんだりして、とてもおもしろかったです。

えんそくが1ばんこころにのこりました。いろいろなどうぶつにあえて、たくさんふれあえました。

畑岡小の思い出 2年

わたしの1ばんの思い出は、えんそくでアークぼくじょうにいったたまごひろいをしたことです。楽しかったです。

1ばんの思い出は、えんそくでアークぼくじょうにいったことです。たまごとりが1ばん楽しかったです。

1ばんの思い出は、じゅぎょうさんかんの親子ドッジボールです。わたしのチームはまけたけど、楽しかったです。

1ばんの思い出はアークぼくじょうにいったことです。はじめてうまにえさをあげて、花も食べることをしました。

わたしの1ばんこころにのこったことは、町たんけんです。りつなんこうえんで、みんなでなかよくこおりおにをしました。

ぼくの1ばんの思い出はみんなといっしょにくらせたことです。2年生のみんなとたくさん楽しくあそべました。





◇ぼくは、学校の校歌を歌うのが楽しかったです。これからも元気に歌っていききたいです。

◇ぼくが楽しかった思い出は、三年生の遠足と運動会です。遠足では、カモメにえさをあげたのが楽しかったです。運動会では、一位をとれたのがうれしかったです。

◇わたしが楽しかったのは、二年生の時に「りゅうぐうの笛」というげきをしたことです。わかめひめの役をしました。きぼうした役だったので、とってもうれしかったです。

◇わたしは三年生の遠足で、しおがま・松島方面に行きました。船に乗ってカモメにかっぱえびせんをあげた時に、かまれたけど楽しかったです。

◇ぼくの思い出は、三年生で遠足に行ったことです。水族館でおみやげに金の剣を買ったことが楽しかったです。

◇二年生の時に、みんなでザリガニとりに行きました。ザリガニはいたけれどとれませんでした。少しさんねんだったけど、楽しかったです。

◇わたしが楽しかったのは、遠足です。しおがまから「アスカ」という船に乗って、カモメにかっぱえびせんをやったことと、家の人におみやげを買ってよろこんでもらえたことです。

◇ぼくが一番楽しかったことは、学校で本立てを作ったことです。理由は、お父さんといっしょにくぎうちとかをしたからです。

◇ぼくが思い出にのこったことは、校歌とじどう会の歌をおぼえられたことです。若小に行ってもわすれないようにしたいです。



ありがとう 畑岡小学校



～ 3 年 生 ～

◇わたしは運動会が楽しかったです。ときよう走ではじめて友だちをおいこしました。うれしかったです。

◇ぼくの思い出は、畑岡で野球をしたことです。畑岡リトルスワンスも今年で終わりだけど、野球を始めてよかったです。

◇三年生の遠足で、かまぼこ工場の屋上でかまぼこをやいて食べました。それから、マリリンピア水ぞく館で、いろいろな魚を見たり、アシカのショーを見たりして楽しかったです。

◇わたしは、がくげい会でがんばったことが思い出です。ステージに立つのはきんちょうしたけれど、みんなで協力することができました。すこく楽しかったです。

◇三年生の遠足で、ゆうらん船に乗ったことが思い出です。少しカモメにかまれたけれど、二回目は上手にえさをあげることでできたのでうれしかったです。

◇私の思い出は、学びい会です。「りゅうぐうのふえ」と「金のおのけき」がせいこうできて、とてもうれしかったです。

◇私は一年生と二年生の時の学びい会が思い出にのこっています。二年生の時は、「りゅうぐうのふえ」をやりました。

◇ぼくは、ザリガニとりが楽しかったよ。ナマズもとれたよ。ほんとうに楽しかったよ。

◇一年生の時に、ザリガニとりに行ったことが楽しかったです。ぼくは2ひきしかとれなかったけど、楽しかったです。

◇学校の一番楽しかった思い出は、松島水ぞく館に行ったことです。魚がいっぱいいて、楽しかったです。また、みんなといっしょに行きたいです。





☆畑小最後の運動会で、赤・白・青・黄の四チームが、全部同じ点数だったのがすごかったです。

☆今年初めて、陸上交流大会に出場しました。びりだったけれどがんばりました。

☆思い出は、今年の運動会です。全色同点で優勝したのが思い出です。

☆思い出は、運動会です。去年優勝したのは青組だったけれども、今年は、全組が優勝だったのでいい思い出になりました。

☆思い出は、やすけばやしししまいです。畑岡小学校の伝統で、初めて運動会でひろうしたのが一番思い出になりました。

☆けん道の試合で栗原で二位でした。みんなで決勝まで勝ち進んでいったことが思い出に残りました。

☆野球の金成大会で優勝できてうれしかったです。とっても大きな優勝カップをもらって、とてもいい思い出になりました。

☆プールで泳いだのが思い出になりました。ビート板をつかって早く泳げるようになりました。

畑小の思い出 4年生



☆一番の思い出は、運動会です。みんなと力を合わせて四色対こーりレーをやりました。優勝はできなかったけれども楽しかったです。

☆思い出は、野球の「あやめ大会」です。その試合で、二るい打を打ったのが思い出になりました。

☆一番の思い出は、畑小でたくさんの友だちと毎日仲よくおにごっこをしたり、かくれんぼをして遊んだことです。

☆一番の思い出は、やすけばやしししまいです。小だいのこのリズムがあまりとれなくてはらはらしました。

☆一番の思い出は、けん道の全国大会に行けたことです。畑小がなくなる前に行けてよかったです。

☆一番の思い出は、畑小で運動会をしたことです。リレーや徒競争でせいっぱい走って結果を残せてうれしかったです。

☆思い出は、雪合戦をしたことです。六年生にいっぱい当てられて、泣いてしまったけれども楽しかったです。

☆思い出は、やすけばやしししまいです。運動会で初めて演奏したのが一番の思い出になりました。



◇私は、一年生の後半に転校してきました。どうしたら良いか分からなかった時に、みんながやさしくしてくれたり遊んでくれたりしたのでうれしかったです。

◇一番の思い出は、運動会です。縦割りリレーでみんなと力を合わせて楽しくできたからです。二回走れたのでとても楽しかったです。畑小がなくなるのは悲しいです。

◇私の小学校生活の思い出は、一年生の時に、裏山に行っただんぐりやまつぼっくりを拾ったりしたこと。いろいろな発見がたくさんできて楽しかったです。

◇私の小学校の思い出は、学習発表会です。一番満足できたのは、二年生の「ねすみのよめいり」で演じたお母さんです。緊張したけど自分らしくできたからです。

◇私の畑小の思い出は、運動会です。今年の運動会で、私は徒競走で初めて三位になれたからです。その時は、とてもうれしかったです。

◇ぼくの畑小での思い出は、今年の大運動会です。最後の得点発表で四色同じ得点だったので、すごいと思いました。今までで一番楽しい運動会になりました。

◇ぼくの小学校の思い出は、運動会です。四年生の時に獅子になり、最初はうまくできなかったけど、いっぱい練習してできるようになりました。

◇私の小学校での思い出は、一年生の時に六年生とたくさん遊んだことです。六年生のおかげで学校生活に早く慣れることができて楽しかったです。

畑小の思い出 5年生



◇私の畑小での一番の思い出は、運動会です。三年生になって一番やりたかったつなびきができたときは、うれしかったです。それから、すべり台がいっぱいあって楽しかったです。

◇私の思い出は、二年生の時の学芸会です。「ねすみのよめいり」で、ぬいぐるみの赤ちゃんを出すところがすくはすかしかったです。心に残りました。

◇私の思い出は、学芸会です。中でも印象に残っているのは、三年生でやった「地上最強のロボット」です。りんという女の子の気持ちが出せるようにがんばりました。

◇私の一番の思い出は、四年生の時の秋祭りです。いろいろな遊びをしたり、景品をもらったりしてとってもおもしろかったです。畑小がなくなるのは、とっても悲しいです。

◇ぼくの畑岡小学校の一番の思い出は、四年生の時のマラソン大会です。なぜかという初めて一番になったからです。とてもうれしかったです。

◇ぼくの畑岡小学校の思い出は、運動会です。理由は、楽しかったからです。中でも楽しかったのはリレーです。みんなと力を合わせてがんばりました。

◇ぼくの思い出は、今年の運動会です。中でも一番印象に残ったのは、細み体操です。最初はできなかったのですが、うんと練習してやっとできるようになりました。

◇ぼくの畑小の思い出は、今年の運動会です。組み体操では、肩車やブリッジ、バランスなどいろいろな演技をしました。全校のみんなもがんばって、四班同点になりました。



☆ぼくの思い出は、休み時間にみんなでボールおにをしたり、野球の人とキャッチボールをしたことです。みんなと仲良く遊んだりして二十五分間を楽しく過ごしました。

☆私が一番思い出に残ったのは今年の運動会です。今年は団旗を持つことができたし、全部の組が優勝したからです。二十七年の歴史で初めてだと聞いて嬉しかったです。

☆ぼくの小学校生活の思い出は、みんなで毎日おもしろい話して笑い合っていたことです。みんなでほけたり、たまに先生が入ってきたりしたのが楽しかったです。

☆ぼくの小学校での思い出は、休み時間に男子の人たちで戦いをしたことです。プロレスのような戦いで男らしさを表現した遊びです。なぜかとても楽しくなります。

☆私の畑小での思い出は六年生のプールです。私ははじめのころ水が苦手でしたが、そのうちに泳げるようになり、今では水泳記録会に出られるくらいになりました。

☆ぼくの思い出は今年あった最後の運動会です。今まではどの組かが一位だったのですが、今年は四色同点で一位でした。四色が同率一位になったときにはびっくりしました。

☆ぼくの小学校の思い出は休み時間です。一番楽しかったのは、四年生の時にジャンボすべり台でやったボールおにです。全員でやったのでとても楽しかったです。

☆私の小学校での思い出は休み時間にブランコに乗ってボールをよける遊びです。「キヤー！」と叫んだり笑ったりしました。スリル満点でも楽しかったです。

☆私の畑岡小学校での思い出は、六年生での運動会です。なぜなら小学校生活でも畑小でも最後の運動会でみんなが頑張れたし、地域の人たちも一緒に楽しんでくれたからです。



畑小の思い出



～ 6 年 生 ～

☆私の畑小での思い出は四年生の時の運動会です。なぜなら、徒競走とリレーで転んだからです。今もそのきずあとが残っています。でも、それはそれでいい思い出です。

☆私の思い出は、四年生の時転校してきた初日のことです。みんなで体育館に集まって、私は緊張して胸が張りさけそうでした。でも今は畑小に来て本当に良かったと思います。

☆僕の思い出は、休み時間にボールおにをしたことです。ボールおにでは顔スレスレをボールが通過したり、股間に当たったことがあります。でも、すごく楽しかったです。

☆私の思い出は、五年生の時に体育の授業で初めてバレーボールをしたことです。初め相手チームになかなかボールがいかなかったけどボールをとれるようになっておもしろかったです。

☆私の思い出は、修学旅行でみんなと話をしたこと、音楽の授業でみんなで合奏をしたことです。合奏では嵐の「果てない空」を演奏しました。私はグロックンでした。

☆私の畑小の思い出は六年生教室から音楽室までさわぎながら走っておられたことです。六年生教室から音楽室までの廊下は長いのでなぜか走りたくなってしまいます。

☆ぼくの思い出は業間の時間にみんなでサッカーをしたことです。ぼくはなかなかシュートが決まらなかつたけど、練習したらどんどん決まるようになったのが一番の思い出です。

☆ぼくの思い出は、遊び時間にみんなで遊んだことです。ボールおにや階段よこの芝生で大乱闘したりしました。中学に行ったらクラスが別々になるので忘れられない思い出です。

☆ぼくの思い出は六年生の運動会の徒競走で一位になれたことです。なぜなら三年ぶりに一位になったことと最後の運動会で良い結果を残せたからです。一番の思い出になりました。



感謝

事業部会長 橘 喜代志

旧畑岡小学校を卒業してから30年余りの月日が経ちました。木造二階建て校舎の佇まい、教室や廊下の木材塗料が染み込んだ独特な油の匂い、先生や友達とそこで過ごした6年間は今でも懐かしい大切な思い出です。

小学校を卒業して数年後、旧畑岡小と大立小が統合し、そして今般、学校再編により畑岡小学校の歴史に幕を閉じることとなりました。時代の変化、社会的事情による地方組織の宿命と言ってしまうえばそれまでですが、やはり何となく寂しいものです。しかし、形として残らずとも、そこで経験した様々な出来事は、それぞれの人生の一コマとして永遠に記憶されることでしょう。今般私は、閉校記念事業部部長という大役を仰せ付けられました。PTAの皆さん、先生方、そして地域の皆様のご支援とご協力、畑岡の団結力によって事業運営が遂行できました。関係各位の皆様に心より御礼申し上げますとともに畑小の歴史に感謝いたします。



集合写真（昭和61年）

きょうなら畑岡小学校

記念誌・記念碑部会長 千葉 慎也

旧畑岡小と旧大立小が統合し、27年で畑岡小学校が閉校してしまうのは、旧畑岡小の卒業生である私にとっても残念に思います。時代の流れで学校再編は、各県、地域でも進められ、ここ若柳地区も5校の小学校が統合となります。畑岡小学校へは、2年前転校して来ました。それまでは、大きな小学校を3校経験して来ました。畑岡小学校は、小さな学校ですがそれゆえに親子が参加できる行事も多く、また児童、先生、PTA、地域の方々とのつながりも深く良い教育環境の学校だと思いました。新しい学校でも、良い部分を取り入れながら児童が明るく楽しく学べる学校にしていきたいと願っています。今回、閉校事業の記念誌、碑の部長として参加させていただき良い思い出になりました。最後に、記念誌、碑の製作にあたり部員の方々、原稿等を書いていただいた方々へ大変感謝致します。「ありがとうございました。」

再編計画に携わって

再編準備部会長 桜田 隆吉

この計画が初めて提示された時は、何がどうなるのか、なぜ必要なのか、漠然としたものだけが走っていたように思います。その中で、子どもたちにとって必要な環境を、みんなに考えてもらうことが重要と思い、畑岡独自の資料を作成し、計画の必要性やその後の弊害などを説明しながら協議を重ね、計画に参加する決断を下すことになりました。

保護者の全員に、共通の理解を以て検討ということは、非常に困難なことではありましたが、一番大切なことであり、未来を考えることができたように思います。

畑小は以前にも統合を経験している学校でもあり、多くの方が複雑な思いをもたれていることでしょう。しかし、子どもたちの成長のためには必要な決断だったと感じております。

学校がなくなるという事実は大きなものですが、それ以上に、大きな思い出がみんなの心の中に存在していくような気がします。何年たっても子どもの頃に帰れる場所として、わたしは思い続けます。ありがとうございました。



運動会（平成18年）

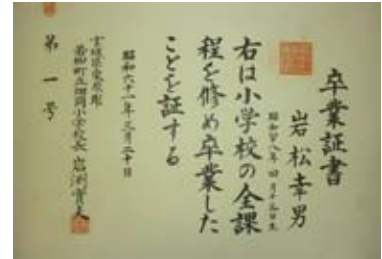


心の中の宝物

卒業生の代表 第一期卒業生

岩松 幸男

私達、第一期卒業生は旧畑岡小、旧大立小が統合し、幼稚園の時に共に遊んだ32名の仲間が再会し、新しい校舎で一年間だけでしたが、楽しい時を過ごしました。当時の6年生の教室は、今の図工室。教室の窓から見える景色は体育館を建設する重機。とても、勉強どころではなく、いつも担任の先生に叱られながら勉強や遊びで過ごした、一年間でした。学校行事では運動会や学芸会は勿論の事、校内キャンプなども行い、楽しい思い出が沢山、有りました。又、スポーツにも励み、朝は野球午前中は陸上、午後は水泳の練習と家に居る時間よりも学校で過ごした時間の方が長かったのではないのでしょうか。しかし、今となってはその思い出が自分の心の中の宝物となり、感謝の気持ちで一杯です。最後に、自分を含め今迄、数多くの児童達を27年間、見守ってくれた畑岡小学校。『本当にありがとうございました。』



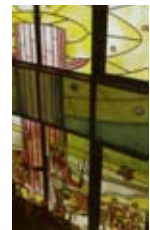
卒業証書 第1号

思い出

各地区の保護者

大槻 秀悦

旧畑岡小学校と大立小学校が統合したのは、私が2年生のときです。幼稚園と一緒に過ごした仲間との久しぶりの再会でした。まっ白な校舎。昇降口のステンドグラス。広い体育館。すべてが真新しい中での希望に満ち溢れる新畑岡小学校のスタートでした。同級生33人で過ごした日々。小学校生活、数えきれないほどの思い出ができて、特に思い出に残っているのが花山合宿で嵐の中でのキャンプでした。畑小ならではの団結力があつたからこそ乗り越えられたのだと思います。母校がなくなるのは非常に残念ですが、良い思い出とともに畑小は一生心の中に残っています。畑岡小学校の歴史が記念誌に銘記され永遠に残されますことを心から念願し思い出の記とさせていただきます。



自慢の母校

各地区の保護者

管 美奈子

昭和60年、私が小学校4年生だった時に畑岡小学校と大立小学校が統合して新生畑岡小学校になりました。新築の畑岡小学校は校舎と体育館が真っ白で、玄関を入れば目の前にステンドグラスの窓が広がり、そして六角形の屋根の音楽室がとても素敵で、今でも私の自慢の母校です。そして現在も伝統として残っている縦割り活動も盛んでした。運動会はもちろんの事、収穫祭では縦割り毎にみこしを作ったり、いも煮会もあって今ではやらなくなったイナゴ取りをしてイナゴの量で各班の肉の量が決まるという競い合いをした思い出があります。自慢の母校が閉校するのはさみしいけれど畑岡小学校で学んだという事をこれからも誇りにしていきたいと思います。



イナゴ取り (昭和61年)

心の中に

各地区の保護者

千葉 恵理

主人と私は、新生畑岡小学校の第一期生です。6年生の時に、現在の畑岡小学校に統合となりました。新しい校舎に、新しい校歌、嬉しさ半分。6年振りの同級生との統合、新しい学校での最高学年に緊張半分と複雑な気持ちで新学期を迎えた事を今でも覚えています。子供の入学を期に、20年振りに畑岡小学校へ親子で登校。校門に立ち学校を眺め、我が母校に我が子供が入学できる事に感激しました。来年度、偶然にも二番目の子供が、私達と同様に6年生で若柳小学校へ統合します。いつまでも心の中に畑岡小学校を思い、人生の糧にしてほしいと思います。



思い出の畑岡小学校

各地区の保護者
千葉 亮

私が、大立小学校と畑岡小学校が統合し、現畑岡小学校を第一期生として卒業した事や、沢山の小学校の思い出を今回、寄稿を依頼されて改めて思い出しています。勉強に運動に学芸会や修学旅行、恩師の先生方、どれも懐かしい思い出です。私にとって畑岡小学校は、大切な友達ができ、色々な経験を積んだ場でした。再編により畑岡小学校が閉校になるのは、非常に残念ですが、子供達にとっては若柳地区五校が一緒になり、新しい友達が増えるわけです。新若柳小学校の思い出を、新しい仲間達とこれからいっぱい作ってってもらいたいと思います。



七夕集会（昭和60年頃）

畑岡小学校 校歌

各地区の保護者
(米ヶ浦1) 大場 ゆうか (5年 萌葵)

畑岡小学校校舎への入学生は、私達の学年が初めてで、ピカピカのランドセルにピカピカの教室、新しい運動着に教科書、とても嬉しかった事を覚えています。中でも校歌を一生懸命覚えた事が印象に残っています。1年生の私には歌詞が少し難しく、全部覚えるまで時間がかかりました。27年経った今も畑小校歌を覚えています。1年生の時、難しく感じた歌詞は子供達と畑岡への思いが込められていて素敵な歌詞だと改めて感じました。学校行事の際に子供達と共に校歌を唄える事に喜びと幸せを感じます。若柳に統合したら新しい校歌になるとは思いますが、畑小校歌が応援歌として、畑小この心の中に残ってくれたらいいなと思います。

お世話になりました。

各地区の保護者
小澤 淳子

私が生まれ育った畑岡、大立小学校から今の畑岡小学校になり、真新しいピカピカの校舎に入ったのは、私が5年生の時でした。あれから年月が経ち、うれしい事に、我が子達も畑小でお世話になりました。久々に入った校舎は、何10年経ってもとてもきれいで大切に使われている様子が伝わってきました。閉校する年、偶然にも我が子も5年生、母子でお世話になった畑小へ、感謝の気持ちでいっぱいです。本音を言えばずっと残って欲しかった・・・けれど、いずれ出会う新しい仲間と、少し早く関わりを持たせたい気持ちで、親も子も前に歩いていけたらという思いです。素晴らしい地域、誇れる畑岡小学校でした。



畑岡小で育ち

各地区の保護者
高橋 美憲

畑岡小閉校まで1年をきり残す所、数ヶ月と日に日に「閉校」と言う重みや寂しさを実感しております。畑岡小での思い出深い行事の一つとして思い出されるのがやはり「春の大運動会」ではないでしょうか、全校児童でのたて割、四色対抗での徒競走やリレー。子供達が一生懸命に走る姿、バトンを渡す姿、そしてチームを応援する姿。どの場面の子供達も真剣な眼差しに、見ている方までもが引き込まれ、そして感動をもらいました。私自身畑岡小第一期生。27年と言う非常に短い歴史で幕を閉じる事を残念に思っております。これからもっともっと大きくなってほしい子供達に期待しております。『見せろ！畑小のパワー、絆を！』



四色対抗リレー（平成18年）





新畑岡小学校開校時をふり返って

初代（昭和60年度）

岩松 敏 会長

児童数の減少により学校再編計画に伴い畑岡小学校も若柳地区の4つの小学校とともに若柳小学校に平成25年4月に統合されることになりました。ふり返ってみますと昭和60年4月に旧畑岡小学校と旧大立小学校が校舎の老朽化に伴い新畑岡小学校として誕生いたしました。当時の児童数は現在の倍以上の人数がいたと思います。学校に対する愛着も強く、「おらほの学校」ということで地元の学校に大変協力的でした。その反面、統合になると心が一つになるのに大変苦労した思い出があります。畑岡小が本当に一つになったのは統合してから10年以上かかったと思います。



開校式（昭和60年4月）

文部省指定特別活動を受けて

第2代（昭和61年度～平成元年度）

高橋 榮悦 会長

昭和62年、63年と指定を受け、「自主的、実践的な態度を育てるために」をテーマに学校での行事は縦割での活動になり、花山少年自然の家での宿泊が始まりました。「子ども達が将来の生きる力になれば」と先生が話していました。63年10月5日に公開授業が行われ、アトラクションとしてちびっ子獅子舞が披露されました。昼食はお母さん方に協力を頂き、新米でのおにぎりを準備しました。最後に校庭で、色とりどりの風船が青空へと舞上がったのを見てとても感動した事を覚えています。次の日は朝から大雨でした。教育長の言葉に、畑岡の人たちは運がいいやーと話しておりました。



花山キャンプ（平成元年）

感謝

第3代（平成2年度～平成3年度）

佐藤 優 会長

いくら時代の流れとはいえ100人の児童が居る畑岡小が！畑岡の里から学校の灯が消える日が来るとは残念至極。昭和60年千葉教育長「素晴らしい校舎と優秀な先生方を用意します」、伊藤教育委員「私を信じてください。悪いようにはしません」の話の元に、新生畑岡小が誕生。勉強にスポーツに沢山の「畑岡っこ」が活躍している。子供の声が無くなるのは哀しい。早いこと、大きいこと、無駄なくまっすぐなことが本当にベスト？どうすることもできない自分の力不足が悔しい。また何時の日か、畑岡の里に子供達の笑顔が弾けることを願って。今はただ皆様に感謝、感謝。

閉校にあたって

第4代（平成4年度～平成5年度）

高橋 博 会長

今まであった学校が閉校してしまうということは地域の一つの文化拠点、交流の場が無くなってしまふことであり、卒業生、保護者、教職員だけでなく、地区に関わる全ての人々にとって地域の灯が消えてしまいます。

私の小学校の思い出としては、諸先輩方の力添えを得て「弥助ばやし」を子供達が伝承してくれた事です。卒業生の心の中にいつまでも残っていると思います。また、オリンピック選手が卒業した学校でもあります。

最後に、畑岡小学校の輝かしい足跡が皆様の心に残り、思い出され、語り継がれていくことを祈念いたします。



弥助ばやし（平成5年）



第5代 (平成6年度～平成7年度)

菅原 幹夫 会長

時の流れとはいえ、地域のシンボルである小学校がなくなるのは一抹の寂しさを感じます。振り返って見て、記憶に鮮明に残っているのは平成7年度に実施された開校十周年記念事業の一環として、全校児童・園児総参加による創作ミュージカル「走れ佐助 伊豆沼干拓ものがたり」の上演です。子供達の心に残るものをやりたいということで、当時の校長先生(菅野正紀先生)に脚本をお願いしたところ、快く引き受けていただきたくさんの地域の方々、父兄の前で2時間30分にわたり子供達が心をひとつにして演じてくれたことは本当に感動しました。

10周年記念事業「走れ佐助」の思い出

第6代 (平成8年度～平成9年度)

大場 一夫 会長

私と4人の子供はみな畑岡小学校のお世話になりました。こんなに早く閉校になるとは信じられない思いです。上の2人が在学中にPTAの役員になり、その時に創立10周年の記念事業を行う事になりました。そこに菅野校長が赴任してきました。全校総出演の創作ミュージカル「走れ佐助」伊豆沼干拓物語を執筆していただいたのです。お金の工面、そして舞台の製作などは先生方はじめ在校生、保護者、そして地域の方々と一緒に作り上げました。私も出演の場を設けていただき大満足でした。今でもその当時の皆様の顔が目には浮かびます。



学芸会 (平成8年)

地域と共に

第7代 (平成10年度～平成11年度)

二階堂 一範 会長

時代の流れとは言え、子供たちが少子化・財政事情の犠牲になり、27年の輝かしい歴史に終符を打つことは、誠に残念です。

私が、PTAの役員になって13年間たくさんの先生方や地域の皆さんと一緒に活動してきました。その中で私が自信を持って言えることは皆が子供たちのために一丸となって行動してくれるという事です。資源回収や畑小弥助ばやしなど、地域の協力があつてこそこれまでやってこれたのだと思います。

地域の核として大きな役割を担ってきた畑岡小学校。これからも多くの人々の心の中に永遠に生き続けることだと思います。

空に向かって大きく翼を広げる白鳥のように畑岡小学校の子供達がこの学舎で学んだ理念を胸に未来に大きく飛び立つ事を願いたいと思います。

毎日のように学校に行きました

第8代 (平成12年度～平成13年度)

千葉 誠悦 会長

平成12年度、13年度と2年ほどPTA会長の任にあたりました。西暦でいえば2000年ちようどのシドニーオリンピックが開催された年でした。

畑岡小学校出身の高橋千恵美選手が10000m走に出場した年で、何か応援ということで、小学生にお願いして折鶴を折って町の激励壮行会の場で手渡すことができました。他に思い出としては、校舎内外の環境整備を沢山行いました。個人的にはPTA会員の中にパソコンの先生が沢山いて、いろいろな方にいろいろな事を教わることができました。





楽しかったPTA活動

第9代 (平成14年度～平成16年度)

大場 隆 会長

役員会はいつも金曜日でした。それは次の日が、先生方や役員の中にも休みになっているからです、学校での会議は早めに切り上げ続きは、アルコールとカラオケの助けを借りて続けられました。おかげで皆さんの協力は素晴らしく、今でも思い出すたびに、私にもいい時代があったなと思っています。田んぼで会ってもいろいろと相談し、家庭の問題まで解決してもらってその繋がりは今でも続いています。先生方、PTA会員の皆様、いっぱい感謝していますよ。ありがとうございました。

みんなで頑張った署名活動

第10代 (平成17年度～平成18年度)

白鳥 光裕 会長

内谷川にバイパス道路が開通で、旧JA栗っこ畑岡支店前交差点での交通事故多発で、交差点に信号機の設置をしようとPTA会員が中心となって、先生方、地域皆様1200名余りの署名をいただきましたが、残念ながら未だに設置には至っていません。

畑岡地区皆様の子供たちに接する熱い思いと協力をいつもいただいている事には、今でも感謝しています。

弥助ばやし(平成17年)



畑岡の子供たちにエールを

第11代 (平成19年度～平成20年度)

高橋 淳 会長

私が会長を務めた2年間で、最も印象に残ったのは大雨での大運動会でした。子供達は泥まみれになりながら精一杯頑張りました。先生方や役員、殆どの父兄が終始グラウンド整備をした結果、有終の美でやり遂げることができ、一生の思い出となりました。

畑岡小学校は、歴史的に重要な將軍壇を背負い、正面には眼下に広がる桜並木、緑から黄金色に移り変わる田園風景や多くの生物が育む伊豆沼。この環境にある学校が閉校するのはとても残念でなりません。しかし、この時代の移り変わりの中、子供にとって何が良いのかを考えればやむを得ない事なのかなと思います。

この人情味豊かな地域で育んだ事で自然を大切にする心、命の大切さや他人への思いやりの心が当然のように備わっていることを誇りにして小学校生活を送って欲しい。そう子供たちにエールを送りたいと思います。



運動会(平成19年)

思い出の学校

第12代 (平成21年度)

小澤 大助 会長

我が家では長男が6年間、双子の次男、三男がそれぞれ5年間、妻が開校から2年間畑岡小学校にお世話になりました。

わんぱく広場より眼下に広がる伊豆沼、遙か北西には雄大な栗駒山の雄姿を望み、春になれば校庭を取り囲む様に沢山の桜が咲き乱れる。そんな豊かな自然の中、27年間素晴らしい教育活動が行われてきたものと思う。

私にとっても畑岡小は母校ではないものの、PTA役員として畑岡小のPTA事業の運営に関わり、先生方やその時々PTA会員の皆さんと一緒に過ごした楽しい時間はかけがえのないものになったし、決して忘れることの出来ない思い出の小学校になりました。

通用門の桜





びったりの良き時代

先生方と子供がびったり。親と子供がびったり。先生と親がびったり。学校と地域がびったり。びったりくっついて、ほんわりと思いやりたっぷりの教育ができる時代でした。

將軍壇でお花見。ビニールプールで水遊び。山の坂道でけつつすべり。雁や白鳥が校舎の上をかぎになって渡って行く。のんびり、ゆっくり心豊かな教育のできる時代でした。

子供一人一人がよく見えた。親は学校のことなら何にでも協力してくれた。地域のみんなで子供を育ててくれた。子供と先生と家族が一体となって収穫のある教育のできる時代でした。

吉田 よし子先生



野外合宿（昭和 62 年）

幸せな38年をありがとう。

私事になりますが、昭和27年に新潟小学校米ヶ浦分校に入学以来、分校3年、大立小学校3年、旧新潟小学校に教師として5年、統合した新生新潟小学校に6年、保護者として15年、図書ボランティアとして6年お世話になりました。思い返せば自分の人生は新潟小学校と共にありました。

米ヶ浦分校から独立した大立小学校は当時としてはしゃれた2階建ての建物で中身も充実し子供心にも誇らしく思ったものでした。機器の完備した放送室もあり、朝昼夕に、校内放送が行われました。文部省指定で公開研究会も行われ、たくさんのお客さんがきました。先生方も児童も希望に満ち溢れていました。

2回目に赴任した時には、ちょうど統合10周年に当たり、記念行事として菅野正紀校長先生脚本によるミュージカル「走れ！佐助」が上演されました。新潟の歴史を元にして作られたというスケールの大きい演劇で、みんな心を1つにして取り組みました。（ビデオがあります）

千葉 章子先生

ありがとう新潟小学校

当時の新潟小学校の1日は朝のマラソンから始まりました。時間になると旧新潟小学校、旧大立小学校も関係なく、子供も職員も一斉に外に出て校庭を走り、終わると整然と行進をして教室に入りました。その中で体力が付き、学校としての一体感や良い面での競い合いが生まれ統合1年目から子供たちは各種大会で大活躍しました。私が勤務する築館小学校校長室には、昭和61年と平成元年の新潟小学校優勝が記されているペナントが結び付けられている栗原郡小学校陸上競技大会女子総合優勝の盾が飾られています。それを見る度に懐かしい日々が思い出されます。

千葉 文彦先生

ありがとう新潟小学校

四季折々の美しさで心をなごませてくれる伊豆沼。素晴らしい自然環境に恵まれた新潟小学校。私も7年間お世話になりました。出会った子供たちは、いつもキラキラ輝く瞳で何事にも意欲的でした。力を合わせて頑張った運動会、協力し合って取り組んだ学芸会、地区の皆さんと豊作を喜びあったもちつき大会、そして、新潟ならではの弥助ばやし獅子舞など、本当に楽しい思い出でいっぱいです。新潟小学校は閉校になりますが、歴史と伝統の「新潟魂」で、前進してくれることを期待しています。地域の皆さんに感謝です。新潟小学校ありがとう。

千葉 正寿先生



もちつき大会



大好きな畑岡小学校

安達 祥子先生

平成14年4月から平成20年3月までの8年間畑岡小学校でお世話になりました。

ラムサール条約に指定された伊豆沼を眼下に見下ろす畑岡小では、生きた教材を使った伊豆沼学習を進めてきました。また平成20年度～21年度の2年間金銭教育研究校の指定を受けて、保護者の皆さんとさまざまな取組をしてきたこともよい思い出です。保護者の皆さんとの思い出は数多く、赴任した年は、学校前の大きな用水路に腰まではまってしまい、子供たちを軽トラックに乗せて、お風呂に入れさせてもらいました。地域のお祭りに参加したり、集会所で夜遅くまで過ごしたりしたことも忘れられません。



どろんこで軽トラック

閉校は残念ですが、地域のよさはずっと変わらないものと信じています。

感謝をこめて

二階 雅之先生

御校には、3年間お世話になりました。

1年目は、今年度5年生の皆さん、2、3年目はコスモス学級、鈴木海夏さんの担任でした。私は学会や学習発表会で、脚本を使っていたり、背景画を描かせていただいたりしたことがとてもありがたい思い出です。劇の登場人物たちは皆さんのおかげで、本の中から飛び出すことができました。たくさんの登場人物たちは、劇が終わると同時に、皆さんに心から「ありがとう」と言って本の中に帰っていったことでしょうか。石川、齋藤校長先生をはじめ、先生方、児童、保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。

四季に学ぶ

氏家 伸先生

若柳在住の私にとっては、近すぎず遠すぎず、あまりにも良すぎる環境でした。

春は栗南公園、畑岡小学校の桜や銀色に輝く田んぼを見て、夏に向けて緑濃くなる田んぼ、そして伊豆沼のハス。秋には黄金色の田んぼ、冬は白鳥に魅せられ、本当に四季の流れを感じる学校でした。

その中で、お花見給食や田植え、ハスマつりの乗船、白鳥の観察など本当に貴重な経験を積むことができました。このように、たくさんの子供たちと過ごした時間は、私の良い思い出でもあり、宝物です。

最後に、忘れられないこと、新聞の全国紙の1面に載る地震をいくつか経験したのも畑岡小在任中でした。私も一生忘れることができません。心にしまっておきたいと思います。

畑岡小学校 お世話になりました。

畑岡小学校の思い出

佐藤 なおみ先生

私が畑岡小学校にお世話になったのは、平成18年からの6年間です。

白鳥を模した白い階段教室から見る伊豆沼の四季折々の風景は美しく、毎年満開の桜の木の下で食べる給食はとてもおいしかったです。マコモ植えに、ニシギギの植樹、ザリガニとりに昆虫館、白鳥観察、弥助ばやし等々畑岡ならではの活動を存分に楽しむことができました。金銭教育の公開研究会も懐かしい思い出です。元気いっぱいの子供達と惜しみなく協力してくださった保護者の皆様ありがとうございました。畑岡小学校での思い出は私の大切な宝物です。



ニシギギ植樹

戦時中の小学校生活

藤原 賢さん

私達は昭和18年4月畑岡国民学校に入学しました。既に太平洋戦争の敗色が濃くなっていました。学校内も戦争一色で、校庭では敵に仕立てたわら人形に上級生は竹槍で攻撃する訓練をしていました。私達も敵機の爆撃に備え、校舎の裏山に避難する訓練もたびたびありました。国内は物資不足で教科書は上級生が使ったものを使い、運動靴や長靴はクラスに3足とか5足が配給になり、くじ引きで当たった人が買うことができるので真剣でした。雨が降れば裸足で登校し、学校の足洗い場でジャブジャブして教室に入りました。今はみな懐かしい思い出です。

畑岡小学校と畑岡弥助ばやし獅子舞

佐々木 昌衛さん

畑岡小学校で子供たちが初めて獅子舞を演じたのは統合になる前の大立小学校の時（スポーツ推進校としての公開授業）のアトラクションでの獅子舞です。もちろんこの時はまだ小学校では獅子舞を取り組んではいません。かけ地区の人たちが畑岡に伝わる伝統芸能を伝承するため、「かけ区ちびっ子獅子舞育成会」を立ち上げ、3年前より夏休みラジオ体操後30分毎日練習を積み重ね地区の神社である八幡宮に奉納獅子舞を演じられるようになり、サンクチュアリセンターや町の行事などに、毎月1回は公演するようになりました。その時公開授業でのアトラクションの依頼があり、初めて小学校で演じられました。その後小学校が統合になり学校でも獅子舞を取り組むことになり、現在に至ります。獅子舞を伝承していくには学校の授業での取組が大事だと思います。



獅子舞（平成17年）

畑岡小学校閉校について

鈴木 繁行さん

畑岡小学校平成24年度で閉校になり、平成25年度からは、新生若柳小学校として始まります。畑岡小学校がなくなるという事が地域の皆さんにとっても寂しいかぎりでありました。運動会、学芸会など祖父母の皆さんが、本当に楽しみにしていました。また、秋には収穫祭に、美味しいおもちをいただきました。私が一番思い出に残っている事は、なんとといっても畑岡小学校の皆さんによる弥助ばやしであります。毎回、伊豆沼レンコン掘り大会には、セレモニーで御協力をいただきありがとうございます。また、若柳ライオンズクラブの年次大会には、盛大に弥助ばやしをして大反響をいただきました。最後になりますが、先生方、PTAの皆さん長い間大変御苦勞様でした。本当にありがとうございました。



レンコン掘り（平成15年）

旧畑岡小学校の思い出

高橋 忠孝さん

平成25年畑岡小学校も統合されます。学校創立以来140年、数多くの変革があり、特に旧畑岡小学校より米ヶ浦分校が独立、大立小学校として開校。以後年々児童数が減少し、旧畑岡小学校、大立小学校が統合され、現在の畑岡小学校が開校。私は戦後間もない昭和21年に入学。学校玄関前に大きな桜の木、校庭の真ん中に又大きな「モミノ木」、校庭の周りにも多くの桜の木、校舎の裏の高い所に広場があり、そこが校庭以外の遊び場。その奥に忠魂碑があり、そんな事を思い出しながら未来の子供たちの素敵な教育と健全な成長を願い、新しい小学校で子供たちに素敵な夢と希望を与えてほしいものです。



しんどがったよ

千葉 勝吉さん

高台に白亜の新校舎—統合畑岡小学校—児童数233名、9クラスの新しい畑岡小学校として生まれかわりました。と、昭和60年5月1日発行の広報わかやなぎに掲載されてます。当時旧畑岡小PTAの一役員をしていた私は、新校舎への引越、旧校舎の整理作業等、先生方PTA会員の皆さんと懸命に取り組んだ事が思い出されます。統合畑岡小開校を控えての統合畑岡小PTAの準備委員会は旧畑岡小大立小の現役員が委員となり、畑岡公民館和室において開催されました。会則会費等原案はスムーズに決まりましたが、役員案件については様々な事があり重苦しい雰囲気の中、幾度かもたれようやく原案ができました。初年度総会に役員案件で異議が多く休憩を取り一部修正して可決されました。辛く悲しい思いをした事は今でも覚えています。

いま、地形を利用した音楽堂などモダンでユニークな校舎でいきいきと学ぶ児童、それを支えるPTAの活動をみますと時の流れとはいえ、27年で閉校とは寂しいですね。



畑岡小時代の思い出

黄海 千代子さん

畑岡小学校が閉校になるなんて残念！校舎から見える美しい伊豆沼の四季。自然環境の素敵な畑岡小学校。校舎は変わりましたが、私達夫婦、子供達、孫達と3代がお世話になった小学校には、思い出がたくさんあります。孫達の運動会には若いお母さん方に混じって、綱引き、大縄跳び、ムカデ競走等出場したのも楽しい思い出です。祖父母参観日には、昔の遊び、昔ばなし、子供たちが作った米で前日から準備をし餅をつき、地域の皆さんと一緒にごちそうになりましたね。マラソン大会では、自分が走るようなどきどきした気分で孫の応援をしたものでした。

楽しい思い出がいっぱいの畑岡小学校。孫達も皆卒業してしまいましたが、私達家族の母校は思い出話にいつまでも残るでしょう。

これからの子供たちは大きな学校に行き、お友達もたくさん出来るでしょう。勉強や運動で競い合って強く元気に成長して下さい。



運動会（綱引き）（平成10年）

思い出いっぱい

村上 留美さん

我が故郷である畑岡で、幼稚園の先生として過ごした7年間は思い出がいっぱいです。

子供達は明るく素直で純粋で、いつも目を輝かせて遊んでいました。季節ごとに変化する裏山に何度も探検にいったこと、小学校の前の田んぼで泥だらけになって生き物を捕まえたこと、畑で収穫した野菜を料理して、いろんなパーティーをしたこと、振り返るとたくさんのかわいい笑顔が思い出されます。

今年度で閉校（園）してしまうのは残念ですが、畑岡というすばらしい環境の中で育った子供達が今後も健やかに成長し、様々な場で活躍する姿を楽しみにしております。





小学校時代の思い出

2000年シドニーオリンピック 10,000m 出場

昭和62年度卒業 高橋 千恵美さん

畑岡小学校を卒業してから、はや24年の歳月が経ちました。

小学校4年生の時に大立小学校と統合になり、現在の畑岡小学校になりました。統合となった畑岡小学校での学生生活は3年間ではありましたが、楽しかった思い出ばかりです。

小学校時代の私は、非常に活発で負けず嫌い。そして運動が大好きな女の子でした。小学校4年生の時からスポーツ少年団に加入し、剣道や卓球にも汗を流していました。また、当時は毎朝8時過ぎに全校児童が校庭で走る習慣があり、男子児童といつも競いあっていました。その様な事もあり、校内マラソン大会はとても楽しみにしており、常に優勝を目指していました。

マラソン大会のスタート直前は、いつも緊張し足がガタガタ震えていたのを覚えています。それでも走り出すといつの間にか緊張も解れ、二位に大差をつけて優勝。優勝した事が喜び・自信となり、陸上競技を始めるきっかけになりました。運動に力を入れるあまり、勉強があまり得意では有りませんでした。

運動会（昭和62年）



小学校5年生の時に、将来の夢を作文に書く授業があり、「オリンピックに出場したい」と書きました。夢を現実のものにするため、陸上競技に一生懸命取り組み、周りの方の支えもあり様々な困難にぶつかりながらも、それを乗り越えていく事ができました。それにより精神的に逞しくなり、世界で戦えるようになっていき、13年後に夢を実現する事ができました。

「Dream come true」夢を持ち、そこに到達するためには何をすべきか常に考え、行動していく事で、夢は実現できると確信しました。

今は、国家資格である管理栄養士の資格取得を目指し、日々、取り組んでいます。母校が無くなるという事に寂しさを感じますが、沢山の思い出と貴重な体験をさせて頂いた小学校の存在は、今でも誇りに思っています。



稲刈り



集合写真（昭和62年）

在校当時のようす



開校式（昭和60年4月）

開校時にはまだ体育館は出来ていませんでした。旧大立小学校の体育館（元畑岡中学校の体育館）を利用しての開校式でした。

体育館建設の様子

開校時には校舎は出来上がっていましたが、体育館はまだ建設されていませんでした。



開校～昭和62年頃



探鳥会（昭和61年）



スキー教室（昭和61年）



サイクリング（昭和62年）



集合写真（昭和62年）





昭和63年～平成3年頃

運動会（昭和63年）



運動会 綱引き（平成3年）



集合写真（平成2年）

花山キャンプ（平成3年）



卒業記念 集合写真（平成3年）



卒業記念 集合写真（平成2年）



弥助ばやし (平成4年)



運動会 (平成4年)

平成4年～平成7年頃



第46回栗原郡小中学校音楽祭 (平成5年)



第47回栗原郡小中学校音楽祭 (平成6年)



運動会 (平成6年)



祖父母参観 (平成6年)



運動会 (平成7年)



伊豆沼サイクリング (平成7年)





運動会 (平成8年)



運動会 (平成8年)



運動会 (平成9年)



運動会 (平成11年)

弥助ばやし (平成11年)



平成8年～平成12年頃

田植え (平成9年)



秋祭り (平成12年)





レシヨン掘り (平成15年)

平成13年～平成19年頃

運動会 (平成13年)



弥助ばやし (平成14年)



弥助ばやし (平成17年)



弥助ばやし (平成16年)



運動会 (平成18年)



学年PTA (平成19年)





ハス祭り (平成21年)



弥助ばやし栗原市産業まつり (平成22年)



運動会 (平成23年)



カヌー体験 (平成23年)



平成21年～平成24年

プール清掃 (平成23年)



校内水泳記録会 (平成23年)



ありがとう さようなら

畑岡小学校・畑岡幼稚園





あとがき

栗原市立畑岡小学校
教頭 門傳 昌彦

平成24年度をもって閉校となる「栗原市立畑岡小学校」は、旧畑岡小と大立小が合併して今年で27年目です。世界に誇る伊豆沼を眼下に見る白亜の校舎ともお別れです。

私は、教諭時代に5年、教頭として3年お世話になりました。教諭の時には、丁度統合10周年の記念行事を行い、そしてまた今度は閉校記念行事に携わることになるとは思いもよりませんでした。

当時は、生活科で使用する青空教室や休憩用の山小屋建設、そして記念誌及び幼・小全員によるミュージカルの上演等思い出深いものがありました。その子どもたちは、今やお父さん・お母さんです。保護者として学校に協力していただいている存在です。

更に、これまでの歴代の強者どもの栄光の足跡も数限りなくあり、畑岡小はすばらしい教育活動の成果を積み重ねております。

その最後の年に、縁はいなもの、私自身も教員生活最後の年になりました。これまでの教員生活のフィナーレを学校の閉校と重なる縁に自分も仰天しています。最後のお勤めとして、有終の美を飾れるよう励めとの啓示と解釈して仕事をしていきます。

平成25年3月31日「ありがとう・さようなら畑岡小学校」と言うその日まで、保護者の皆様方や地域の皆様方のご支援ご協力をいただきながら、歴史の一ページに刻む思い出作りに努めます。

終わりに、保護者の皆様方・地域の皆様方・祖父母の皆様方・地域の関係者の皆様方による記念誌への寄稿、記念碑への賛同、記念事業への協力等に衷心より感謝申し上げ、末筆ながら「あとがき」といたします。



記念誌編集委員



はばたき ～畑岡小学校27年のあゆみ～
栗原市立畑岡小学校閉校・
畑岡幼稚園閉園記念誌

発刊 平成25年3月
発行 栗原市教育委員会
企画・編集 栗原市立畑岡小学校閉校記念事業実行委員会記念誌・記念碑部会
栗原市立畑岡小学校・畑岡幼稚園



